



運用報告書（全体版）第 19 期（2019 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日）

**バンガード®・インデックス・ファンズ -
バンガード・トータル・ストック・マーケット・インデックス・ファンド
Vanguard Index Funds -
Vanguard Total Stock Market Index Fund**

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト ETF クラス受益証券

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、バンガード・インデックス・ファンズ - バンガード・トータル・ストック・マーケット・インデックス・ファンド（以下「ファンド」といいます。）は、このたび、第19期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

<ファンドの仕組み>

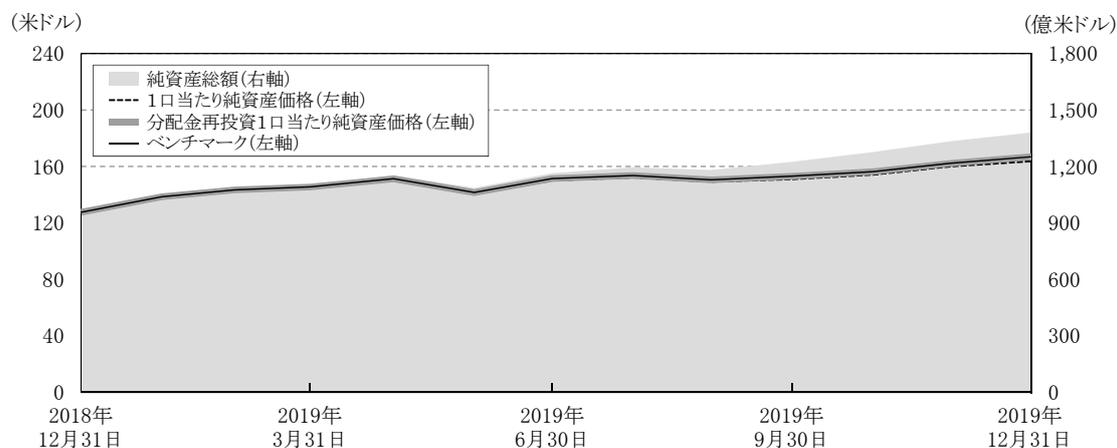
ファンド形態	米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドは、米国の株式市場全体の投資収益を測るベンチマーク・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指して運用を行います。
主要投資対象	下記「運用方法」をご参照ください。
運用方法	ファンドは、大型株、中型株、小型株、超小型株を含む投資可能な米国市場で取引される株式のほぼ 100%から構成される CRSP US トータル・マーケット・インデックス（CRSP US Total Market Index）のパフォーマンスに一致するように設計されたインデックス投資手法を用います。ファンドはインデックスを参照し、主要な特性について、全体としてインデックス総体に類似する広範囲に分散された証券を保有します。かかる主要な特性には、産業別比重と時価総額、および株価収益率、配当利回り等の一定の財務数値が含まれます。
投資制限	ファンドは、以下の基本的投資制限に従わなくてはなりません。基本的投資制限はファンドの株式の過半数にあたる受益者の承諾がなければ、いかなる方法によっても変更することはできません。かかる目的上、「過半数」の受益証券とは、①ファンドの純資産の 50%以上に相当する受益証券を有する受益者または委任状を有する代理人が出席した上でのファンドの純資産の 67%以上の賛成投票を表象する受益証券、または②ファンドの純資産の 50%以上を表象する受益証券のいずれか少ない方をいいます。 (i) 借入れ ファンドは、1940 年投資会社法（以下「1940 年法」という。）またはその他の準拠法、その規則、もしくは米国証券取引委員会（以下「SEC」という。）またはファンドに対する権限を有するその他の規制当局が認める範囲内での

	<p>み、借り入れを行うことができます。</p> <p>(ii) 商品 ファンドは、1940年法またはその他の準拠法、その規則、もしくはSECまたはファンドに対する権限を有するその他の規制当局が認める範囲内でのみ、商品に投資することができます。</p> <p>(iii) 分散 総資産の75%について、ファンドは（1）単一発行体の発行済議決権付証券の10%以上を購入し、または（2）その結果、ファンドの総資産の5%以上が当該証券の発行体に投資されることとなるような場合に証券を購入することはできません。本制限は米国政府またはその機関、または下部機構の債務には適用されません。</p> <p>(iv) 産業への集中投資 ファンドは、目標とするインデックスの構成に近似させるために必要な場合を除いて、主要な事業活動が同一業種または同一業界の発行者の証券に投資を集中させてはなりません。</p> <p>(v) 投資目的 ファンドの投資目的は株主決議なく変更できません。</p> <p>(vi) 貸付 ファンドは、1940年法またはその他の準拠法、その規則、もしくはSECまたはファンドに対する権限を有するその他の規制当局が認める範囲内でのみ、他者への貸付を行うことができます。</p> <p>(vii) 不動産 ファンドは、証券またはその他の証書を保有した結果として取得した場合を除き、不動産に直接投資をしてはなりません。本制限は、ファンドが（1）不動産の投資、取引を行うか、または不動産取引に従事する企業により発行されるか、もしくは（2）不動産またはその利益により担保または保証される証券またはその他の証書への投資を妨げるものではありません。</p> <p>(viii) 優先返済証券 ファンドは、1940年法またはその他の準拠法、その規則、もしくはSECまたはファンドに対する権限を有するその他の規制当局が認めた場合を除き、優先返済証券へ投資をしてはなりません。</p> <p>(ix) 引受 ファンドが1933年証券法に規定される証券の販売に関する引受会社とみなされる場合を除き、ファンドは他の発行者の証券の引受会社としての業務を行うことはできません。</p>
分配方針	<p>ファンドは、受益者に対して、全ての純所得（利息、配当から費用を控除した額）を、保有する資産の売却によって実現した短期または長期のネット・キャピタル・ゲイン同様分配します。所得の分配は通常年に4回、3月、6月、9月および12月に行われます。キャピタル・ゲインの分配があれば、通常年に1回、12月に行われます。さらに、ファンドは、随時、追加的な分配を年度の一定時点で行うことがあります。</p>

I. 計算期間中における運用の経過および運用状況の推移

(1) 運用の経過

① 1口当たり純資産価格の推移等



- (注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第18期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注3) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮しておりません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。
- (注4) ファンドのベンチマークは、スプライスト・トータル・ストック・マーケット・インデックスです。2005年4月22日までは、ダウ・ジョーンズ・US・トータル・ストック・マーケット・インデックス（以前はダウ・ジョーンズ・ウィルシャー・5000インデックスとして知られていました。）を、2013年6月2日までは、MSCI US・ブロード・マーケット・インデックスを、それ以後は、CRSP USトータル・マーケット・インデックスをいいます。
- (注5) ベンチマークは、第18期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

バンガード・トータル・ストック・マーケット・インデックス・ファンドのETFクラス受益証券(ティッカー：VTI)は、「バンガード・トータル・ストック・マーケットETF」と称することがあります。また、本書においては、当ファンドの名称を英文アニュアルレポートに記載の英語名称で表記する場合や、ETFクラス受益証券を「ETF受益証券」と表記する場合があります。

2018年12月31日から2019年12月31日までのファンドのパフォーマンス

	期初の価格	期末の価格	1口当たり分配金	
			インカム分配	キャピタルゲイン
ファンド	127.56 米ドル	163.70 米ドル	2.905 米ドル	0.000 米ドル

2019年12月31日に終了する期間までの年間平均トータルリターン

	1年	5年	10年	投資額 10,000 米ドル に対する最終価格
ファンド純資産価格	30.80%	11.21%	13.43%	35,257 米ドル
ファンド市場価格	30.80	11.20	13.42	34,240
ベンチマーク	30.84	11.21	13.44	35,295

(注1) トータルリターンは、表示通貨（米ドル）建ての純資産価格に基づき計算されております。

(注2) ETF 受益証券について、市場価格は、ニューヨーク証券取引所の通常取引終了時（通常、米国東部標準時間時午後4時）の呼値スプレッドの中間値によって決定されます。ファンド総資産の市場価格から負債を控除し、発行済ファンド受益証券口数で除すことにより計算される純資産価格もまた、ニューヨーク証券取引所の通常取引終了時に決定されます。

② 分配金について

当期（2019年1月1日～2019年12月31日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 （対1口当たり純資産 価格比率 ^(注1) ）	分配金を含む1口当 たり純資産価格の変 動額 ^(注2)
2019年3月25日	142.69	0.7720 0.54%	23.92
2019年6月17日	147.28	0.5472 0.37%	5.14
2019年9月16日	152.50	0.7000 0.46%	5.92
2019年12月24日	163.41	0.8855 0.54%	11.80

（注1）「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

$$\text{対1口当たり純資産価格比率（\%）} = 100 \times a / b$$

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

（注2）「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

$$\text{分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額} = b - c$$

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

（注3）2019年3月25日の直前の分配落日（2018年12月24日）における1口当たり純資産価格は、119.54米ドルでした。

③ 1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

ファンドのパフォーマンス

- ・ 米国株式市場は、2019年12月31日に終了した12か月間において、約31%のリターンを挙げました。グロース銘柄がバリュー銘柄を上回り、大型株が中小株を下回りました。
- ・ この株式市場の傾向を反映して、Vanguard Total Stock Market Index Fundのリターンは全てのクラス受益証券で30%を上回りました。
- ・ 当ファンドは投資者に対して米国株式市場のすべてのセグメント、サイズおよびスタイルへの投資機会を提供しており、ベンチマークであるCRSP US トータル・マーケット・インデックスに密接に連動しました。
- ・ ファンドの10の市場セクターすべてが、プラス・リターンを記録し、テクノロジー、金融および資本財が最もパフォーマンスに貢献しました。

* 上記の記述は、Vanguard Total Stock Market Index FundのETFクラス受益証券を含む全ての受益証券クラスについてのものです。

(2)今後の運用方針

ファンドは、米国の株式市場全体の投資収益を測るベンチマーク・インデックスのパフォーマンスへの運動を目指します。今後も投資方針に従い、引き続き運用を行います。

(3)費用の明細

項目	項目の概要		注
管理費用	純資産価額の年率 0.02%	管理的性格の業務および事業運営にかかる業務の対価	費用の料率は、2020年4月28日付英文目論見書に記載された現会計年度の見込み費用です。 2019年12月31日に終了した会計年度において、費用料率は合計0.03%でした。
12b-1 販売費用	なし	該当なし	
その他の費用	0.01%	ファンドが負担したその他の費用金額	
ファンドの年次運営費用合計	0.03%		

II. 運用実績

① 純資産の推移

	純資産総額		1口当たり純資産価格	
	百万米ドル	日本円(百万円)	米ドル	日本円
第10会計年度末 (2010年12月末日)	17,930	1,964,411	64.86	7,106
第11会計年度末 (2011年12月末日)	19,521	2,138,721	64.29	7,044
第12会計年度末 (2012年12月末日)	24,270	2,659,021	73.24	8,024
第13会計年度末 (2013年12月末日)	39,165	4,290,917	95.91	10,508
第14会計年度末 (2014年12月末日)	50,886	5,575,070	106.00	11,613
第15会計年度末 (2015年12月末日)	57,434	6,292,469	104.34	11,431
第16会計年度末 (2016年12月末日)	69,889	7,657,039	115.21	12,622
第17会計年度末 (2017年12月末日)	91,862	10,064,401	137.06	15,016
第18会計年度末 (2018年12月末日)	94,809	10,387,274	127.56	13,975
第19会計年度末 (2019年12月末日)	138,067	15,126,621	163.70	17,935

(注1) 米ドルの円貨換算は、2019年12月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=109.56円)によります。

(注2) ETF 受益証券の設定日は、2001年5月24日です。

(注3) 本書の中で金額および比率を表示する場合、四捨五入しているため合計の数字が一致しない場合があります。円貨への換算は、本書の中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。従って、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もあります。

② 分配の推移

	1口当たり分配金	
	米ドル	日本円
第10会計年度	1.148	126
第11会計年度	1.233	135
第12会計年度	1.563	171
第13会計年度	1.673	183
第14会計年度	1.869	205
第15会計年度	2.067	226
第16会計年度	2.215	243
第17会計年度	2.343	257
第18会計年度	2.605	285
第19会計年度	2.905	318

③ 投資資産(2019年12月末日現在)

下記「IV.ファンドの経理状況」の純資産計算書を参照ください。

III. 純資産計算書

(2019年12月末日)

	千米ドル	日本円(千円)
総資産額 (Vanguard Total Stock Market Index Fund 全体)	902,429,103	98,870,132,525
総負債額 (Vanguard Total Stock Market Index Fund 全体)	4,805,234	526,461,437
純資産価額(ファンド)	138,067,205	15,126,642,980
発行済み受益証券総数(ファンド)	843,407,682	口
1口当たり純資産価格(ファンド)	\$163.70	¥17,935

IV. ファンドの経理状況

独立登録会計事務所の監査報告書

Vanguard Index Fundsの受託者の理事会、およびVanguard Total Stock Market Index Fundの受益者各位

財務諸表に係る意見

私どもは、添付の2019年12月31日現在のVanguard Total Stock Market Index Fund (Vanguard Index Fundsを構成するファンドの1つで、以下「ファンド」という。)の純資産計算書—投資サマリー、2019年12月31日に終了した年度の損益計算書、2019年12月31日に終了した期間の2年間それぞれについての純資産変動計算書(関連注記を含め)、記載された期間それぞれについての財務ハイライト(以下総称して「財務諸表」という。)を監査した。私どもの意見では、添付の財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠して、2019年12月31日現在のファンドの財政状態、ならびに同日に終了した年度の各ファンドの運用成績、2019年12月31日に終了した期間の2年間それぞれについての純資産の変動、記載された期間それぞれについての財務ハイライトをすべての重要な点において、適正に表示している。

監査意見の基礎

財務諸表はファンドの経営陣が責任を負うものである。私どもの責任は、私どもの監査に基づいてファンドの財務諸表について意見を表明することである。私どもは公開企業会計監視委員会(米国)(PCAOB)に登録された監査法人であり、米国連邦証券法および関連規則、ならびに米証券取引委員会およびPCAOBの規則に準拠して、ファンドに関して独立であることを義務付けられている。

私どもは、PCAOBの基準に準拠して、これらの財務諸表の監査を実施した。これらの基準は、財務諸表に不正または誤謬による重大な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、私どもが監査を計画し実施することを求めている。

私どもの監査には、不正または誤謬による財務諸表の重大な虚偽表示リスクを評価するための手続きを実施し、かかるリスクに対処する手続きを実施することが含まれる。かかる手続きには、試査による財務諸表の金額および開示事項を裏付ける証拠の検証が含まれる。私どもの監査にはまた、経営陣が採用した会計原則および経営陣が行った重要な見積りの検討、ならびに財務諸表全体の表示に関する評価も含まれる。私どもの手続きには、カストディアンおよびブローカーに対する書面ならびに名義書換事務代行会社の所有持分の記録との照合による2019年12月31日現在における有価証券の確認も含まれる。ブローカーからの返答が得られない場合は、私どもは別の監査手続きを実施した。私どもの監査が、私どもの意見表明に関する合理的な基礎を与えるものであると確信している。

プライスウォーターハウスクーパース LLP

ペンシルバニア州フィラデルフィア

2020年2月13日

私どもは、1975年以降、The Vanguard Group of Fundsの1社以上の投資会社の監査人を務めている。

財務諸表

純資産計算書－投資サマリー

2019年12月31日現在

この計算書は、ファンドの保有銘柄を資産種類ごとに要約したものである。ファンドの保有上位各 50 銘柄およびいかなる発行体に対しても総額でファンド純資産の 1%以上を占める投資に関しては詳細を報告している。それより小さな保有割合の総額は、各分類内で一つの金額として報告されている。当ファンドは、各会計年度中 4 回にわたり、証券取引委員会(「SEC」)に保有銘柄の完全な明細表を提出している。第 2 四半期と第 4 四半期については、ファンドの保有銘柄の完全なリストを www.vanguard.com およびフォーム N-CSR で入手することができる。また、800-662-7447 に電話すると無料で郵送してもらうことができる(訳注:日本の受益者については、適用されない。)。各会計年度の第 1 四半期と第 3 四半期については、当ファンドの保有銘柄の完全なリストをフォーム N-PORT の報告書の添付書類として入手することができる。ファンドのフォーム N-CSR およびフォーム N-PORT の報告書は、SEC のウェブサイト(www.sec.gov)で入手することができる。

	株数	市場価格・ (千米ドル)	純資産に 占める割合
普通株式			
素材 †		19,444,965	2.2%
消費材			
Procter & Gamble Co.	70,247,910	8,773,964	1.0%
Coca-Cola Co.	108,645,223	6,013,513	0.7%
PepsiCo Inc.	39,282,426	5,368,729	0.6%
Philip Morris International Inc.	43,826,136	3,729,166	0.4%
NIKE Inc. Class B	35,096,598	3,555,636	0.4%
消費材－その他 †		43,343,780	4.8%
		70,784,788	7.9%
消費者サービス			
* Amazon.com Inc.	11,871,374	21,936,400	2.4%
Walt Disney Co.	50,771,905	7,343,141	0.8%
Home Depot Inc.	30,725,148	6,709,758	0.8%
Comcast Corp. Class A	127,898,595	5,751,600	0.6%
Walmart Inc.	40,068,176	4,761,702	0.5%
McDonald's Corp.	21,217,409	4,192,772	0.5%
* Netflix Inc.	12,347,098	3,995,150	0.5%
Costco Wholesale Corp.	12,386,682	3,640,694	0.4%
§ 消費者サービス－その他 †		60,388,551	6.7%
		118,719,768	13.2%

	株数	市場価格・ (千米ドル)	純資産に 占める割合
金融			
* Berkshire Hathaway Inc. Class B	53,368,129	12,087,881	1.4%
JPMorgan Chase & Co.	83,026,240	11,573,858	1.3%
Visa Inc. Class A	48,235,974	9,063,540	1.0%
Bank of America Corp.	228,004,607	8,030,322	0.9%
Mastercard Inc. Class A	25,281,635	7,548,843	0.8%
Wells Fargo & Co.	107,227,939	5,768,863	0.6%
Citigroup Inc.	61,482,908	4,911,870	0.6%
* Berkshire Hathaway Inc. Class A	1,041	353,513	0.0%
¹ Great Ajax Corp.	1,620,172	23,995	0.0%
¹ Safeguard Scientifics Inc.	1,047,764	11,504	0.0%
¹ Spirit MTA REIT	2,854,330	2,191	0.0%
§ 金融－その他 †		114,711,344	12.8%
		174,087,724	19.4%
ヘルスケア			
Johnson & Johnson	74,147,917	10,815,957	1.2%
UnitedHealth Group Inc.	26,689,357	7,846,137	0.9%
Merck & Co. Inc.	71,739,055	6,524,667	0.7%
Pfizer Inc.	155,931,076	6,109,380	0.7%
Abbott Laboratories	49,821,309	4,327,479	0.5%
Medtronic plc	37,757,947	4,283,639	0.5%
Bristol-Myers Squibb Co.	65,941,862	4,232,808	0.5%
Amgen Inc.	16,741,329	4,035,832	0.4%
AbbVie Inc.	41,653,636	3,688,013	0.4%
Thermo Fisher Scientific Inc.	11,297,406	3,670,188	0.4%
§ ヘルスケア－その他 †		61,329,572	6.8%
		116,863,672	13.0%
資本財・サービス			
Boeing Co.	15,062,314	4,906,699	0.6%
Accenture plc Class A	17,886,881	3,766,441	0.4%
United Technologies Corp.	24,306,428	3,640,131	0.4%
* PayPal Holdings Inc.	33,082,634	3,578,549	0.4%
Honeywell International Inc.	20,133,795	3,563,682	0.4%
Union Pacific Corp.	19,557,102	3,535,728	0.4%
*, ¹ Perma-Pipe International Holdings Inc.	465,028	4,362	0.0%
§ 資本財・サービス－その他 †		94,589,357	10.5%
		117,584,949	13.1%

	株数	市場価格・ (千米ドル)	純資産に 占める割合	
石油・ガス				
Exxon Mobil Corp.	119,196,797	8,317,553	0.9%	
Chevron Corp.	53,266,865	6,419,190	0.7%	
§ 石油・ガスーその他 †		21,524,980	2.4%	
		36,261,723	4.0%	
§.2 その他 †		4,162	0.0%	
テクノロジー				
Microsoft Corp.	214,894,399	33,888,847	3.8%	
Apple Inc.	112,647,486	33,078,934	3.7%	
* Facebook Inc. Class A	67,790,793	13,914,060	1.6%	
* Alphabet Inc. Class A	8,433,695	11,296,007	1.3%	
* Alphabet Inc. Class C	8,233,074	11,007,785	1.2%	
Intel Corp.	122,533,964	7,333,658	0.8%	
Cisco Systems Inc.	119,505,808	5,731,499	0.7%	
* Adobe Inc.	13,636,027	4,497,298	0.5%	
NVIDIA Corp.	16,376,180	3,853,315	0.4%	
* salesforce.com Inc.	23,468,715	3,816,952	0.4%	
*.1 Computer Task Group Inc.	746,502	3,867	0.0%	
§ テクノロジーーその他 †		66,720,403	7.4%	
		195,142,625	21.8%	
通信サービス				
AT&T Inc.	205,770,728	8,041,520	0.9%	
Verizon Communications Inc.	116,496,859	7,152,907	0.8%	
通信サービスーその他 †		1,903,334	0.2%	
		17,097,761	1.9%	
公益事業 †		28,902,407	3.2%	
普通株式総額(取得原価 508,641,348 米ドル)		894,894,544	99.7%³	
優先株式(取得原価 36 米ドル) †		43	0.0%	
	クーポン	口数		
短期現物投資				
マネー・マーケット・ファンド				
^{4,5} Vanguard Market Liquidity Fund	1.816%	53,284,330	5,328,966	0.6%
⁶ 米国政府および政府機関債 †			137,690	0.0%
短期現物投資総額(取得原価5,465,831米ドル)			5,466,656	0.6%³
⁷ 投資総額(取得原価514,107,215米ドル)			900,361,243	100.3%

	金額 (千米ドル)	
その他資産および負債		
その他資産		
バンガードへの投資	39,345	
投資有価証券売却未収金	12,998	
未収収益	954,088	
受益証券発行未収金	1,034,626	
未収変動証拠金－先物契約	8,801	
未実現評価益－OTC スワップ契約	9,669	
その他資産 ⁵	8,333	
その他資産合計	2,067,860	0.2%
負債		
投資有価証券購入未払金	(19,003)	
貸付有価証券にかかる担保	(2,964,698)	
受益証券償還未払金	(1,682,184)	
バンガードへの未払金	(127,798)	
未払変動証拠金－先物契約	(1,990)	
その他負債	(9,561)	
負債合計	(4,805,234)	(0.5%)
純資産	897,623,869	100.0%

2019年12月31日現在の純資産構成は以下の通りである。

	金額	
	(千米ドル)	(百万円)
払込資本金	517,405,991	56,687,000
分配可能利益(損失)総額	380,217,878	41,656,671
純資産	897,623,869	98,343,671
インベスター受益証券－純資産		
発行済み受益証券1,753,462,332口 (額面0.001米ドル、無制限授權)	139,685,679	15,303,963
1口当たり純資産価格－インベスター受益証券	\$79.66	¥8,728
ETF受益証券－純資産		
発行済み受益証券843,407,682口 (額面0.001米ドル、無制限授權)	138,067,205	15,126,643
1口当たり純資産価格－ETF受益証券	\$163.70	¥17,935
アドミラル受益証券－純資産		
発行済み受益証券3,169,091,239口 (額面0.001米ドル、無制限授權)	252,535,692	27,667,810
1口当たり純資産価格－アドミラル受益証券	\$79.69	¥8,731
インスティテューショナル受益証券－純資産		
発行済み受益証券1,916,108,581口 (額面0.001米ドル、無制限授權)	152,716,443	16,731,613
1口当たり純資産価格－インスティテューショナル受益証券	\$79.70	¥8,732
インスティテューショナル・プラス受益証券－純資産		
発行済み受益証券1,259,067,118口 (額面0.001米ドル、無制限授權)	188,188,264	20,617,906
1口当たり純資産価格－インスティテューショナル・プラス受益証券	\$149.47	¥16,376
インスティテューショナル・セレクト受益証券－純資産		
発行済み受益証券168,526,705口 (額面0.001米ドル、無制限授權)	26,430,586	2,895,735
1口当たり純資産価格－インスティテューショナル・セレクト受益証券	\$156.83	¥17,182

• 財務諸表の注記 A を参照。

* 配当を出さない有価証券。

§ 当ファンドの有価証券の一部は、重要な観察不能なインプットを用いて評価されている。

† 保有上位 50 銘柄に含まれず、またいかなる発行体に対しても全体で純資産の 1%以下である有価証券の総額を区分ごとに表示したものである。

1 当ファンドが議決権付有価証券の 5%以上を保有しているため、当ファンドの関連会社と見なされている。

2 「その他」は、ファンドのベンチマークによって分類されていない有価証券を表す。

3 当ファンドは、現金準備高の一部をインデックス先物契約およびスワップ契約を用いて株式市場に投資している。先物およびスワップ投資の影響を考慮すれば、当ファンドの実質的な普通株式および短期現物投資のポジションは、純資産のそれぞれ 100.0%および 0.3%である。

4 バンガード・ファンドならびにバンガードが管理する一部の信託および口座にのみ利用可能な関連会社のマネー・マーケット・ファンド。提示されているレートは7日間の利回りである。

- 5 貸付有価証券にかかる担保 2,964,698,000 米ドルが受領された。このうち、2,956,365,000 米ドルを Vanguard Market Liquidity Fund で保有、8,333,000 米ドルを現金で保有している。
- 6 未決済先物契約の当初証拠金として分別管理された有価証券は 122,551,000 米ドルである。
- 7 貸付有価証券の価値総額は 2,789,582,000 米ドルである。

REIT-不動産投資信託

OTC-店頭

期末現在のデリバティブ金融商品残高

先物契約				(千米ドル)
	満期	ロング(ショート) 契約数	想定元本	価値および 未実現評価益 (評価損)
ロング先物契約				
E-mini S&P 500 指数	2020年3月	14,070	2,273,079	24,712
E-mini ラッセル 2000 指数	2020年3月	1,914	159,876	2,492
E-mini S&P ミッドキャップ 400 指数	2020年3月	240	49,555	850
				28,054

店頭トータル・リターン・スワップ

参照企業	満期日	カウンター パーティー	想定元本 (千米ドル)	受取 (支払) 変動金利 ¹ (%)	価値および 未実現 評価益 (千米ドル)	価値および 未実現 評価損 (千米ドル)
Assurant Inc.	2/4/2020	GSI	6,521	1.945	29	—
First Republic Bank	2/4/2020	GSI	142,014	2.375	1,740	—
JPMorgan Chase & Co.	9/2/2020	BOANA	118,584	2.147	6,678	—
VICI Properties Inc.	2/4/2020	GSI	24,610	1.745	1,222	—
					9,669	—

1 月間受取額／支払額。

BOANA—Bank of America, N.A.

GSI—Goldman Sachs International

2019年12月31日現在、契約相手方は、未決済店頭スワップ契約に関して、価格 9,601,000 米ドルの有価証券を分離口座に保管していた。

添付の注記は、財務書類の不可欠の一部である。

損益計算書

2019年12月31日に
終了した年度

(千米ドル) (百万円)

	(千米ドル)	(百万円)
投資収益		
収益		
配当金-非関連発行体	15,136,266	1,658,329
配当金-関連発行体	6,160	675
利息-非関連発行体	4,144	454
利息-関連発行体	70,056	7,675
貸付有価証券-純額	152,182	16,673
収益総額	15,368,808	1,683,807
費用		
バンガード・グループ-注記B		
投資顧問サービス	25,447	2,788
マネジメントおよび管理-インベスター受益証券	169,029	18,519
マネジメントおよび管理-ETF 受益証券	24,791	2,716
マネジメントおよび管理-アドミラル受益証券	71,269	7,808
マネジメントおよび管理-インスティテューショナル受益証券	30,930	3,389
マネジメントおよび管理-インスティテューショナル・プラス受益証券	25,302	2,772
マネジメントおよび管理-インスティテューショナル・セレクト受益証券	1,569	172
マーケティングおよび販売-インベスター受益証券	11,957	1,310
マーケティングおよび販売-ETF 受益証券	4,670	512
マーケティングおよび販売-アドミラル受益証券	10,085	1,105
マーケティングおよび販売-インスティテューショナル受益証券	4,198	460
マーケティングおよび販売-インスティテューショナル・プラス受益証券	2,207	242
マーケティングおよび販売-インスティテューショナル・セレクト受益証券	1	0
カストディー報酬	1,703	187
監査報酬	407	45
受益者報告-インベスター受益証券	1,423	156
受益者報告-ETF 受益証券	1,600	175
受益者報告-アドミラル受益証券	691	76
受益者報告-インスティテューショナル受益証券	1,173	129
受益者報告-インスティテューショナル・プラス受益証券	38	4
受益者報告-インスティテューショナル・セレクト受益証券	-	-
受託者報酬および費用	382	42
費用総額	388,872	42,605
純投資収益	14,979,936	1,641,202
純実現利益(損失)		
売却投資有価証券-非関連発行体 ¹	3,017,113	330,555
売却投資有価証券-関連発行体	(3,906)	(428)
先物契約	766,975	84,030
スワップ契約	50,674	5,552
純実現利益(損失)	3,830,856	419,709
未実現評価益(評価損)の変動		
投資有価証券-非関連発行体	191,133,025	20,940,534
投資有価証券-関連発行体	5,907	647
先物契約	142,709	15,635
スワップ契約	11,880	1,302
未実現評価益(評価損)の変動	191,293,521	20,958,118
運用による純資産の純増加(減少)額	210,104,313	23,019,029

- 1 現物償還による純利益(損失)8,345,326,000 米ドルを含む。この利益(損失)は当ファンドの課税対象ではない。

添付の注記は、財務書類の不可欠の一部である。

純資産変動計算書

	2019年12月31日に 終了した年度		2018年12月31日に 終了した年度	
	(千米ドル)	(百万円)	(千米ドル)	(百万円)
純資産の増加(減少)				
運用				
純投資収益	14,979,936	1,641,202	13,757,171	1,507,236
純実現利益(損失)	3,830,856	419,709	6,511,049	713,351
未実現評価益(評価損)の変動	191,293,521	20,958,118	(56,929,307)	(6,237,175)
運用による純資産の純増加(減少)額	210,104,313	23,019,029	(36,661,087)	(4,016,589)
分配				
純投資収益				
インベスター受益証券	(2,441,205)	(267,458)	(2,268,803)	(248,570)
ETF受益証券	(2,314,799)	(253,609)	(1,838,334)	(201,408)
アドミラル受益証券	(4,371,014)	(478,888)	(3,685,244)	(403,755)
インスティテューショナル受益証券	(2,694,343)	(295,192)	(2,243,070)	(245,751)
インスティテューショナル・プラス受益証券	(3,268,140)	(358,057)	(2,615,192)	(286,520)
インスティテューショナル・セレクト受益証券	(467,850)	(51,258)	(351,965)	(38,561)
実現キャピタルゲイン				
インベスター受益証券	—	—	—	—
ETF受益証券	—	—	—	—
アドミラル受益証券	—	—	—	—
インスティテューショナル受益証券	—	—	—	—
インスティテューショナル・プラス受益証券	—	—	—	—
インスティテューショナル・セレクト受益証券	—	—	—	—
分配総額	(15,557,351)	(1,704,463)	(13,002,608)	(1,424,566)
資本持分取引				
インベスター受益証券	(14,863,283)	(1,628,421)	2,806,888	307,523
ETF受益証券	15,039,487	1,647,726	10,133,992	1,110,280
アドミラル受益証券	13,652,300	1,495,746	8,992,303	985,197
インスティテューショナル受益証券	4,263,716	467,133	9,953,282	1,090,482
インスティテューショナル・プラス受益証券	12,427,894	1,361,600	19,272,078	2,111,449
インスティテューショナル・セレクト受益証券	361,129	39,565	8,123,645	890,027
資本持分取引による純増加(減少)	30,881,243	3,383,349	59,282,188	6,494,957
増加(減少)総額	225,428,205	24,697,914	9,618,493	1,053,802
純資産				
期首	672,195,664	73,645,757	662,577,171	72,591,955
期末	897,623,869	98,343,671	672,195,664	73,645,757

添付の注記は、財務書類の不可欠の一部である。

財務書類注記

Vanguard Total Stock Market Index Fundは、1940年投資会社法に基づきオープン・エンド型投資会社すなわちミューチュアル・ファンドとして登録されている。当ファンドは、インベスター受益証券、ETF受益証券、アドミラル受益証券、インスティテューショナル受益証券、インスティテューショナル・プラス受益証券およびインスティテューショナル・セレクト受益証券の6種類のクラスを提供している。受益証券の各クラスの適格基準および最低購入条件は異なり、様々な種類の投資者向けに設計されている。ETF受益証券は、NYSE Arcaに上場されており、ブローカーを通して売買が可能である。

A. 以下の重要な会計方針は、米国の投資会社に適用される一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠している。当ファンドは、財務書類を作成する際にこれらの会計方針を継続的に適用している。

1. 有価証券の評価: 有価証券は、評価日におけるニューヨーク証券取引所の終値(通常東部時間の午後4時)で評価される。持分証券は、各有価証券が取引されている主な市場から取得した直近の売値または公式な終値で評価される。評価日に約定のなかった有価証券は、直近の売買気配値の仲値を用いて評価される。市場取引価格を容易に入手することができない有価証券、あるいはファンドの価格決定時前で有価証券が主に取引されている市場の終了後に生じた事象により価格が大きく影響された有価証券については、受託者の理事会により公正価値を表すとみなされた方法で評価される。Vanguard Market Liquidity Fundに対する投資はファンドの純資産価額で評価されている。短期現物投資は、直近の買値、または(有価証券の価格、利回り、満期および格付等の要素を考慮した)マトリクス・システムの評価に基づき評価される。どちらの評価方法も、独立した価格提供業者により提供されている。
2. 先物契約: 当ファンドは、一定の範囲内において、指数先物契約を活用する。これは、株式市場に対する十分なエクスポージャーを維持し、流動性を維持し、取引費用を最小化するという目的のために行われる。当ファンドは、流入資金を市場に迅速に投資するために先物契約を購入したり、資金流失への対応として先物を売却することがある。これによって、流動性確保のために現金残高を維持しながら、基準とするインデックスに対し十分な投資ポジションを擬似的に持つことができる。先物契約を利用することに伴う主要なリスクは、ファンドが保有する株式の市場価格の変動と先物契約の価格との間で不完全な相関関係が生じることであり、また市場が非流動的になる可能性である。先物に伴うカウンターパーティー・リスクは、決済ブローカーではなく規制された決済機関がカウンターパーティーであるために緩和される。さらにカウンターパーティー・リスクを緩和するために、当ファンドは取引所で先物契約を取引し、決済ブローカーや決済機関の財務の健全性を監視し、決済ブローカーと決済契約を締結している。決済機関は、当ファンドの履行の保証のために当初証拠金を課し、各契約の市場価格の変動を表す変動証拠金を毎日決済することを義務付けている。未決済契約について当初証拠金として差し入れられている資産は、純資産計算書において注記されている。先物契約は、日次の決済引値で評価されている。契約の名目元本は、純資産計算書に記載されていない。契約の価値の変動は、実現先物利益(損失)として計上されている場合、契約

解消までは純資産計算書においては資産(負債)として、損益計算書においては未実現評価益(評価損)として計上されている。

2019年12月31日に終了した年度中、年度中の各四半期末現在の名目元本の平均によれば、ファンドの買建て、売建ての先物契約への投資は平均して、それぞれ純資産の1%未満および0%であった。

3. スワップ契約: 当ファンドはファンドの目標指数に含まれる選定された参照銘柄について、トータルリターンを得るために株式スワップ契約を締結している。スワップ契約の条件に基づき、当ファンドは規定された期間にわたって、選定された参照銘柄の指定された株数の、当該株式スワップの開始時点の価値である想定元本に適用される当該参照銘柄にかかるトータルリターンを受け取る(すなわち、選定された参照銘柄の価値の増加を受け取り、価値の減少を支払うことに加えて、当該選定された参照銘柄の配当相当額を受け取る)。当ファンドは、また、短期金利に基づいた変動金利を想定元本に適用した利息を支払う。同時に、当ファンドはスワップの想定元本に概ね等しい額を高格付の短期現物投資に投資する。

スワップ契約の想定元本は、純資産計算書上に記載されない。スワップは、独立した価格提供業者または一般に認められているディーラーより提供される市場相場に基づいて日次で評価され、価値の変動は、純資産計算書上に資産(負債)として記載される。また、損益計算書上、スワップが終了するまでは未実現評価益(評価損)として、終了時には実現利益(損失)として記載される。

すべての種類のスワップに伴うリスクは、カウンターパーティーが当ファンドに対して正味金額を支払う義務の履行を怠る可能性である。当ファンドの、カウンターパーティー・リスクの対象となる最大金額は、当該スワップ契約にかかる未実現評価益である。当ファンドは、スワップ契約を事前公認されたカウンターパーティーの多様なグループとのみ行い、その財務の健全性を監視し、そうしたカウンターパーティーとマスター・ネットイング・アグリーメントを締結し、カウンターパーティーにその契約履行を保証するための担保の差入れを求めることで、カウンターパーティー・リスクを軽減している。債務不履行がない場合、ファンドが差し入れたあるいは受け入れた担保は、再担保、転売または二重担保とすることはできない。カウンターパーティーが債務不履行となった場合(破産を含む)、当ファンドは当該カウンターパーティーとのあらゆるスワップ契約を終了し、マスター・ネットイング・アグリーメントに従っていずれかの当事者の未払債務金額を決定し、マスター・ネットイング・アグリーメントに基づいて、当ファンドに対する未払いの純額を上限に、保有する担保を売却するか留保することができる。スワップ契約には、当ファンドの純資産が一定水準を下回った場合に、カウンターパーティーが未決済契約を解約することを認め、解約時に当ファンドが純負債ポジションにあった場合にファンドによる支払いを引き起こす条項が含まれている。この支払額は、当ファンドが差し入れている担保の部分だけ減額されることになる。未決済契約について担保として差し入れられている有価証券は、純資産計算書において注記されている。授受された担保の評価額は、各カウンターパーティーとのスワップ契約エクスポージャーの額と日次で比較され、差異が規定されている最低授受額を超過した場合、調整が行われ、2営業日以内に決済される。

2019年12月31日に終了した年度中、年度中の各四半期末現在の想定元本の平均によれば、当ファンドのトータル・リターン・スワップ投資の平均金額は、純資産の1%未満であった。

4. 連邦所得税:当ファンドは、規制投資会社としての資格を有し、すべての課税所得を分配することを意図している。経営陣は、未確定のすべての課税年度(2016年12月31日から2019年12月31日)の連邦所得税の申告に関して当ファンドの税務ポジションを分析し、当ファンドの財務諸表に所得税引当の必要はないとの結論に達した。
5. 分配:受益者に対する分配は、分配落ち日に記録される。分配金額は税法基準によって決定されるため、財務報告目的の純投資収益および実現キャピタルゲインとは異なる可能性がある。
6. 貸付有価証券:当ファンドは、追加で収益を得るために適格機関投資家に有価証券を貸し付ける。有価証券の貸付は、随時ファンドによる解約が可能で、貸し付けられた有価証券の市場価格と少なくとも同等の金額の担保によって常に保全されることが求められる。日々の市場の変動により、貸付有価証券の価値が受け取った担保金額を上回ったり下回ったりすることになる。この場合、担保は調整され、翌営業日の取引開始前に決済される。当ファンドは、証券貸付取引を事前公認されたカウンターパーティーの多様なグループに限り行い、その財務の健全性を監視し、そうしたカウンターパーティーとマスター証券貸付契約を締結することで、カウンターパーティー・リスクをさらに緩和している。マスター証券貸付契約に基づき、カウンターパーティーが債務不履行となった場合(破産を含む)、当ファンドは借り手との融資を終了し、未払金額を決定し、当ファンドに対する未払いの純額を上限に担保を売却するか留保することができる。ただし、かかる行為は法的手続きを条件とする。担保はカウンターパーティー・リスクを緩和するが、債務不履行が生じた場合、当ファンドには貸付証券の回収において遅延や費用が生じることがある。当ファンドは、有価証券貸付期間中、受領した現金担保をVanguard Market Liquidity Fundに投資し、担保の返済について純資産計算書上に負債を計上している。貸付有価証券による収益は、借手に請求される手数料および現金担保による収益から貸付関連費用を控除したものを表している。貸付期間中、ファンドは貸し付けた有価証券に対してまたは関連して行われたすべての分配金に対して権利を有する。
7. 借入枠:当ファンドおよびバンガード・グループ(「バンガード」)が管理する特定のその他のファンドは、シンジケート団が毎年更新することができる与信契約に従って提供する43億米ドルのコミットメント・ラインに参加しており、当該借入枠の下で借入を行った場合は、各ファンドはその借入に対して個別に責任を負う。借入は、一時的資金および緊急時資金の調達目的に利用される場合があり、当ファンドの規制上および契約による借入の制約を受ける。借入枠に参加するファンドに対しては、管理手数料および借入枠の未使用額の0.10%に相当する年間コミットメント・フィーが賦課され、これらの手数料は、ファンドの受託者の理事会が承認した方法でファンドに配分され、ファンドの損益計算書のマネジメントおよび管理費用に含められる。この借入枠の下での借入には、1か月物のロンドン銀行間取引金利、実効フェデラルファンド金利または翌日物銀行調達金利のいずれか高い方に、合意されたスプレッドを上乗せした金

利が適用される。

2019年12月31日現在および同日に終了した会計年度のいずれの時点においても、当ファンドには借入残高はなかった。

8. その他: 配当金収益は、配当落ち日に計上される。利息収益は、Vanguard Market Liquidity Fundから受領した利益分配を含み、日次で計上される。負債証券のプレミアムとディスカウントは、個々の証券の残存年数にわたり、それぞれ利息収益について償却および増額の処理を行う。ただし、直近の繰上償還日に償却される特定のコーラブル負債証券のプレミアムは除く。有価証券取引は、有価証券が売買された日に会計処理される。投資有価証券の売却にかかる実現利益(損失)を決定するために用いられる原価は、売却された個別有価証券の原価である。

各クラスの受益証券は、資産および利益に対して同等の権利を有する。ただし、各クラスは別々に、受益者口座の維持(マネジメントおよび管理費用に含まれる)、受益者報告にかかる一定のクラス固有の費用を負担する。マーケティングおよび販売費用は、受託者の理事会が承認した方法に基づいて受益証券の各クラスに配分される。収益、その他特定のクラスに帰属しない費用、投資にかかる損益は、相対的な純資産額に基づいて受益証券の各クラスに配分される。

- B. バンガードとファンド間のファンド・サービス契約(「FSA」)の条件に従い、バンガードはファンドに投資顧問、コーポレート・マネジメント、管理、マーケティングおよび販売サービスをFSAにおける定義に従ったバンガードの運営実費で提供している。こうした運営実費は、受託者の理事会が承認した方法および指針に基づきファンドに賦課される。バンガードは、一定の運営実費(繰延報酬/給付金およびリスク/保険費用等)については当該期に支払を求めず、これらの運営実費に対するファンドの負債は、純資産計算書上でバンガードへの未払金に含まれている。バンガードに対して未払いのすべての他の運営実費は、通常、月2回決済されている。バンガードからの要請に応じて、ファンドは純資産の0.40%までバンガードの資本に投資することができる。2019年12月31日現在、当ファンドはバンガードの資本に対して39,345,000米ドル拠出しており、この額は当ファンドの純資産の0.01%未満およびFSAに従って受領されたバンガードの資本の15.74%に相当する。当ファンドの受託者および役員は、それぞれバンガードの取締役および従業員も兼務している。

- C. 様々なインプットを用いて当ファンドの投資証券の価値を決定することがある。こうしたインプットは、財務諸表目的において広く3つの階層に要約される。有価証券を評価するのに使われるインプットまたは手法が、必ずしもこうした証券への投資に伴うリスクを表すわけではない。

レベル1	活発な市場での同一の有価証券の取引価格
レベル2	その他重要な観察可能なインプット(類似する有価証券の取引価格、金利、期限前償還率、信用リスクを含む)
レベル3	重要な観察不能なインプット(投資の公正価値を決定する際に用いられるファンド独自の仮定を含む)。重要な観察不能なインプットで評価されている投資は、純資産計算書において記載されている。

以下の表は、2019年12月31日現在の当ファンドの投資有価証券およびデリバティブの市場価格を、評価に用いたインプットに基づき要約したものである。

(単位:千米ドル)

投資有価証券	レベル1	レベル2	レベル3
普通株式	894,889,490	96	4,958
優先株式	43	—	—
短期現物投資	5,328,966	137,690	—
先物契約—資産 ¹	8,801	—	—
先物契約—負債 ¹	(1,990)	—	—
スワップ契約—資産	—	9,669	—
合計	900,225,310	147,455	4,958

1 報告期間の最終日における変動証拠金を表す。

- D. 純資産の簿価ベースと税務ベースの構成要素の永久差異は、税務上の性質を反映して財務諸表において資本勘定間で再分類される。これらの再分類は、純資産または1口当たり純資産価格に影響を及ぼさない。期末現在、主に現物償還、受動的外国投資会社、スワップ契約の会計を要因とする永久差異は、以下の勘定間で再分類されている。

(千米ドル)

	金額
払込資本金	8,345,099
分配可能利益(損失)総額	(8,345,099)

分配可能利益(損失)総額の簿価ベースと税務ベースの構成要素の一時的差異は、収益、利益または損失の特定の項目が、財務諸表目的と税務目的において異なる期間に認識される場合に発生する。したがって、これらの一時的差異は、将来のいずれかの時期に解消される。差異は、主に値洗いにおける損失の税務上の繰り延べ、一部の先物契約およびスワップ契約における未実現利益または損失の実現、ならびに受動的外国投資会社の未実現利益に関連する。期末現在の分配可能利益(損失)総額の税務ベースの構成要素は下表のとおりである。

(千米ドル)

	金額
未分配の通常所得	255,875
未分配の長期利益	—
繰越キャピタルロス(相殺期限なし)	(6,156,034)
純未実現利益(損失)	386,223,802

2019年12月31日現在、投資有価証券およびデリバティブの米国連邦所得税目的の原価に基づく未実現評価益(評価損)の総額は、以下のとおりであった。

(千米ドル)

	金額
税務上の原価	514,137,441
未実現評価益総額	410,556,295
未実現評価損総額	(24,332,493)
純未実現評価益(評価損)	386,223,802

E. 2019年12月31日に終了した年度中に、当ファンドが購入した短期現物投資以外の投資有価証券は77,124,211,000米ドル、売却額は44,189,839,000米ドルである。購入および売却には、ファンドの資本持分の現物による購入および償還のそれぞれ、16,479,628,000米ドルおよび11,228,727,000米ドルが含まれる。

F. 当ファンドの投資先会社の一部は、当ファンドが議決権付有価証券の5%以上を保有しているため、もしくは発行体がバンガード・グループのメンバーであるため、当ファンドの関連会社と見なされている。期中のこれらの会社の有価証券の取引は以下のとおりであった。

(千米ドル)

	期中取引							2019年 12月31日 現在市場 価格
	実現収入				未実現 評価益 (評価損) の変動	キャピタル ゲイン 受取 分配金 収益	2018年 12月31日 現在市場 価格	
	2018年 12月31日 現在市場 価格	取得原価 での購入	売却 有価証券 からの 収入 ¹	純実現 利益 (損失)				
Acacia Research Corp.	該当なし ²	3,424	690	(372)	(565)	—	—	該当なし ³
Computer Task Group Inc.	該当なし ²	1,856	173	(58)	578	—	—	3,867
Great Ajax Corp.	該当なし ²	20,667	3,944	388	1,259	728	—	23,995
Moleculin Biotech Inc.	該当なし ²	3,224	90	(100)	(1,467)	—	—	該当なし ³
Orchid Island Capital Inc.	該当なし ²	14,499	8,590	(4,137)	1,826	1,963	—	該当なし ³
Perma-Pipe International Holdings Inc.	該当なし ²	2,933	16	(10)	236	—	—	4,362
Safeguard Scientifics Inc.	該当なし ²	6,067	1,500	(48)	1,338	1,085	—	11,504
Spirit MTA REIT	該当なし ²	3,988	88	126	2,476	2,384	—	2,191
Vanguard Market Liquidity Fund	5,691,905	該当なし ⁴	該当なし ⁴	305	226	70,056	—	5,328,966
合計	5,691,905			(3,906)	5,907	76,216	—	5,374,885

- 1 関連する資本利益率の調整を含まない。
- 2 該当なし—2018年12月31日現在、当該発行体は当ファンドの関連会社ではなかった。
- 3 該当なし—2019年12月31日現在、当該有価証券は保有されていたが、当該発行体は当ファンドの関連会社ではなかった。
- 4 該当なし—購入および売却は、短期現物投資目的である。

G. 受益証券の各クラスの資本持分取引は、以下のとおりであった。

	2019年12月31日に 終了した年度		2018年12月31日に 終了した年度	
	金額 (千米ドル)	口数 (千口)	金額 (千米ドル)	口数 (千口)
インベスター受益証券				
発行	7,749,732	109,431	16,009,467	241,652
現金分配に代えて発行	2,435,264	33,011	2,255,725	33,764
買戻し ¹	(25,048,279)	(342,517)	(15,458,304)	(222,427)
純増加(減少)額－インベスター受益証券	(14,863,283)	(200,075)	2,806,888	52,989
ETF受益証券				
発行	25,747,266	171,544	18,928,131	135,252
現金分配に代えて発行	—	—	—	—
買戻し	(10,707,779)	(71,400)	(8,794,139)	(62,200)
純増加(減少)額－ETF受益証券	15,039,487	100,144	10,133,992	73,052
アドミラル受益証券				
発行 ¹	37,798,017	521,571	29,607,545	433,536
現金分配に代えて発行	3,668,017	49,584	3,114,582	46,549
買戻し	(27,813,734)	(383,118)	(23,729,824)	(348,197)
純増加(減少)額－アドミラル受益証券	13,652,300	188,037	8,992,303	131,888
インスティテューショナル受益証券				
発行	18,127,281	253,986	27,433,744	407,227
現金分配に代えて発行	2,526,249	34,162	2,093,941	31,328
買戻し	(16,389,814)	(225,625)	(19,574,403)	(286,645)
純増加(減少)額－ インスティテューショナル受益証券	4,263,716	62,523	9,953,282	151,910
インスティテューショナル・プラス受益証券				
発行	23,108,140	173,405	31,228,823	248,199
現金分配に代えて発行	3,223,646	23,230	2,582,398	20,611
買戻し	(13,903,892)	(102,224)	(14,539,143)	(112,031)
純増加(減少)額－ インスティテューショナル・プラス受益証券	12,427,894	94,411	19,272,078	156,779
インスティテューショナル・セレクト受益証券				
発行	3,339,486	23,224	9,064,355	64,847
現金分配に代えて発行	467,850	3,217	351,965	2,683
買戻し	(3,446,207)	(23,715)	(1,292,675)	(9,583)
純増加(減少)額－ インスティテューショナル・セレクト受益証券	361,129	2,726	8,123,645	57,947

1 2018年11月、当ファンドはインベスター受益証券およびアドミラル受益証券の購入可能度ならびに最低購入基準の変更を発表した。すべての発行済みインベスター受益証券は、2019年4月から自動的にアドミラル受益証券に転換された。ただし、バンガード・ファンドおよび一部の他の機関投資家の保有分を除く。2019年12月31日に終了した年度の転換によるインベスター受益証券の買戻し、アドミラル受益証券の発行は、それぞれ153,030,000口、152,973,000口で、金額は11,326,553,000米ドルであった。

H. 経営陣は、当財務諸表で認識または開示しなければならない、2019年12月31日以降に生じた事象または取引はないと判断した。